

善養寺便り

第七号

平成二十七年十月号

発行

善養寺

◆「姫路中組キッズサンガ」なかそ

八月二十一日、善養寺で「姫路中組キッズサンガ」という催しがありました。「サンガ」とは「集団」や「組合」を意味する古代インドのサンスクリット語の言葉です。サッカーのリーグに「京都パープルサンガ」というチームがありますが、同HPには「サンガ」は「仲間を意味するサンスクリット語」とあります。

数年前からこの姫路中組でも夏休み中に行われており、今年も善養寺が会場となりました。



当日は、9時に善養寺に各お寺から子供たちが集まり、皆でお勤めをした後、腕輪念珠作り、身体を使ったゲームなどで遊び、お昼は各寺の仏婦さんが作ってくださったカレーの昼食をいただき、午後からは、雅楽鑑賞や県立歴史博物館の見学など、一日たっぷり楽しい時間を過ごしました。来年の場所は未定ですが、皆さんお子さんやお孫さんと是非参加してください。



◆「すみれの会」より

毎月第2水曜日十三時から、皆でにぎやかにおしゃべりしながら楽しい時間を過ごしています。

九月は田中千代野さん、大原早百合さんのご協力で、ハスの実、松の実とハギシで、こんなにすてきな和の小物が出来上がりました。

皆様の「すみれの会」へご参加をお待ちしています。



◆「万灯会・盆会法要」を勤めましたまんどうえ ぼんえ

八月十三日夕方六時より善養寺墓苑にて、恒例の万灯会法要を勤めました。天候にも恵まれ、今年も多くの方にお参りいただきました。

墓苑のシンボルお名号碑において、前住職と後住の三人で阿弥陀経を勤める中、皆様方にはお焼香の後、各家のお墓に行灯を灯していただきました。その後、墓苑内を行道しました。

十五日は午前九時半より盆会法要を善養寺本堂と納骨堂で皆様と共に勤めました。



宗派を問わず、善養寺墓苑にお墓をお持ちの多くの方にお参りいただきました。



〈今後の予定〉

十月四日 初めてでもぜんぜん大丈夫！

「小筆で書く年賀状」

十二月十日 大人の遠足

「晩秋の好古園でランチ」

◆第3回 仏教婦人会 仏教講演会

九月十六日、第三回講演会がありました。講師は、谷川弘顕先生です。今年の谷川先生の話は今回で最後です。

「浄土真宗の聴聞の心得」というものがありますのを紹介し

ます。

「浄土真宗の聴聞の心得」

一、この度のこのご縁は、初事と思うべし。

一、この度のこのご縁は、我一人の為と思うべし。

一、この度のこのご縁は、今生最後と思うべし。

真宗は聞法第一と言われる。この言葉はしかし、何も聴聞だけに限る言葉ではないですね。人生何事も一期一会です。どうか、門信徒の皆さん、老若男女問わず、当山のご法座にもっともっとお参りしていただきたいです。

お聴聞には行きたいけど、健康上の問題や交通手段のため来にくい方も少なからずいらっしゃいます。何かをするためには何かを我慢したり、犠牲にしなくてはなりません。どうかお知り合い等お声を掛け合ってお参り下さい。

さて、今回の谷川先生のお話では「念仏者は無礙の一道」とか「自然法爾」などという言葉が出てきました。どちらか大変

難しい言葉です。少しだけ補足説明します。

無礙の「礙」とは「障り」つまり「障害」という意味です。「無礙」とも書きます。「帰命尽十方無礙光如来」の「無礙」です。

「念仏者は」は「念仏は」とも読むのですが、「お念仏を称える私たちは、念仏こそが、お浄土へ参らせていただく今の障害のない一つの道」という意味になります。

では、「障害」とは何でしょうか、という疑問も出てきます。ここでいう「障害」とは、まさしく私たちの「煩惱」に他なりません。煩惱の塊も障害にならない、ということですが、でも、念仏さえ称えていたらあとはどうでもいいのでしょうか。念仏の道とはどんな道でしょうか。それは私たちの日々の暮らしへの問いかけになるのです。

難しそうなところで置いておきます。続きはまた。では、次回の法座のご案内です。

次回は報恩講法要です。

十一月一日(日)二日(月)



姫路中組団体参拝
二〇一七年三月十一日(土)三〇〇名
二〇一七年四月十四日(金)三〇〇名

(2) 法要懇志(寄付金)について

この度の伝灯奉告法要に関連し、本願寺教団は宗門総合振興計画の予算として二百億円を計上し、全国の教区に負担金を配分しました。兵庫教区全体では約十二億四千万円が負担額で、教区内の末寺各寺院へは、賦課金及び先の大遠忌時の懇志等から算出した額が各寺院ごと異なる懇志額として、懇志要請がきています。懇志額は寺院ごとに違い、他寺院の要請額はわかりません。

当山の懇志額ですが、本願寺からの正式な懇志依頼額は現在のところまだ来ていませんが、教区の試算では約**万円ということでした。まずはご報告ということでここに記載させていただきますました。

◆☆#8△◆◇◎*◆☆#8△◆◇◎*◆☆#8△◆◇◎

十月のことば

腹の立つことは明日にのび、
ほめることはその場で言え。

詳細は別紙案内の通りですが、ご講師は、現在龍谷大学教授でいらっしゃる玉木興慈先生です。下は先生の近著です。「歎異抄」について、とてもわかりやすく、丁寧に書かれてあります。最初に書きました「浄土真宗の聴聞の心得」はこの本の中から拝借しました。門信徒の皆さま、十一月をお楽しみに！



◆予告

1 すでにご案内しましたが、
二〇一六年平成二八年二月一三日(土)

京都女子大学女声合唱団善養寺特別演奏会

詳細は未定ですが、演奏は午後の予定です。
寒い時期ですが、どうぞ皆さんお越しください。

2 本願寺第二十五代専如門主伝灯奉告法要

(1) 団体参拝について

来年二〇一六年十月から二〇一七年五月まで全八〇日間にわたり、本願寺の新門主様の伝灯奉告法要が修行されます。伝灯奉告法要とは本願寺の継職法要で、この期間に全国の本願寺派の寺院門信徒がこの法要に参拝をします。

善養寺が所属する姫路中組では左記の期間に団体参拝を計画しています。善養寺も、多くの門信徒の皆さまとつしよにお参りをしたいと思っています。先の話で詳細は未定ですが、皆さま、どうかご予定に入れておいてください。

◆連絡など

★十月二十七日(火)九時より、報恩講に向けて、仏教婦人会有志で境内の掃除をします。ご参加下さる方の都合に合わせて、一時間でも可能です。よろしければご参加下さい。

★九月十六日の第三回講演会時に、北関東の水害被害のための義援金を集めさせていただきました。二万円集まり、翌日神戸新聞社に持って行きましたのでご報告させていただきます。

★善養寺ホームページ、少しずつ更新しています。
ご覧ください。また、ご意見等お待ちしております。

★遅くなりましたが、昨年度永代祠堂懇志を上納下さった方対象の法要を十二月上旬に勤めます。改めてご案内します。

★仏教講演会

十二月三日(木)

「第四回仏教講演会」安方哲爾先生

三月九日(水)

「第五回仏教講演会」安方哲爾先生

